

2013年9月期 第2四半期決算説明会資料

2013年5月14日（東京）

2013年5月16日（大阪）

証券コード 7760

IMV CORPORATION

copyright©IMV CORPORATION 2012 All right reserved



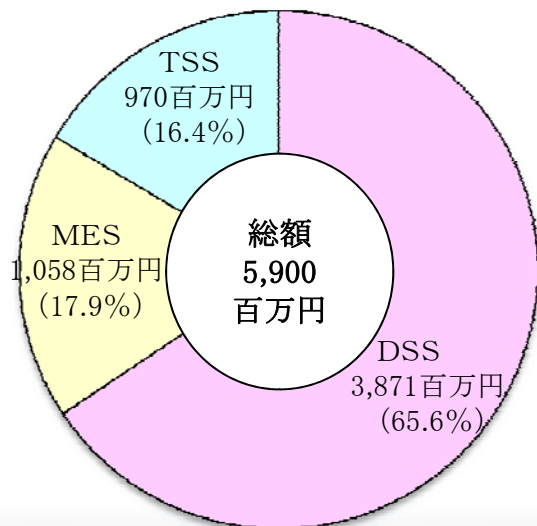
■ 国内トップシェアを実現する3つの事業



振動を**再現**する **DSS事業**
振動シミュレーションシステム



振動を**計測**する **MES事業**
メジャリングシステム



(2012年9月期 連結売上高)

振動問題を**解決**する **TSS事業**
テスト&ソリューションサービス



■ 決算概要



(単位:百万円)

	13/9中間期 実績	12/9中間期 実績	コメント
売上高	3,620	3,156	自動車関連業界向け多軸DSS、海外向けDSS、受託試験の好調な売上により、前年同期比114.7%の増収となりました。
経常利益	698	599	増収効果により、前年同期比116.5%の増益となりました。
純資産	3,095	2,702	中間純利益(463百万円)の計上により順調に増加しました。
フリーキャッシュフロー	123	△28	営業収入の増加(期初売掛債権の増加分回収)により改善しました。設備関連の支出は前期並みでした。
売上高経常利益率	19.3%	19.0%	原価率は上昇したものの、営業外利益(為替差益)の増加により改善いたしました。
自己資本比率	36.3%	34.1%	中間純利益(463百万円)の計上により純資産が増加し、安定性がさらに向上しました。
自己資本中間純利益率 (ROE)	16.0%	14.4%	中間純利益(463百万円)の計上により、純資産に対するリターンはさらに改善しました。
総資産経常利益率 (ROA)	8.7%	8.3%	利益拡大に合わせ、資産効率も向上しました。

■ 主な取り組み



○当該決算期における取り組み

・新製品の導入

無線型振動計「カードバイブロAir2」を2012年12月にリリース



・欧州における販売・マーケティング体制の強化

ドイツ及び英国を中心とした欧州における振動シミュレーションシステム事業への取組みを加速をするため、2013年2月に英国現地法人IMV EUROPE LIMITEDを設立



・販路拡大に向けた展示会参加

「Automotive Testing Expo 2012 CHINA」出展(上海開催)

「ものづくりNEXT メンテナンステクノショー2012」出展(東京開催)



Automotive Testing Expo 2012 CHINA



ものづくりNEXT メンテナンステクノショー 2012

■ 決算概要(連結)



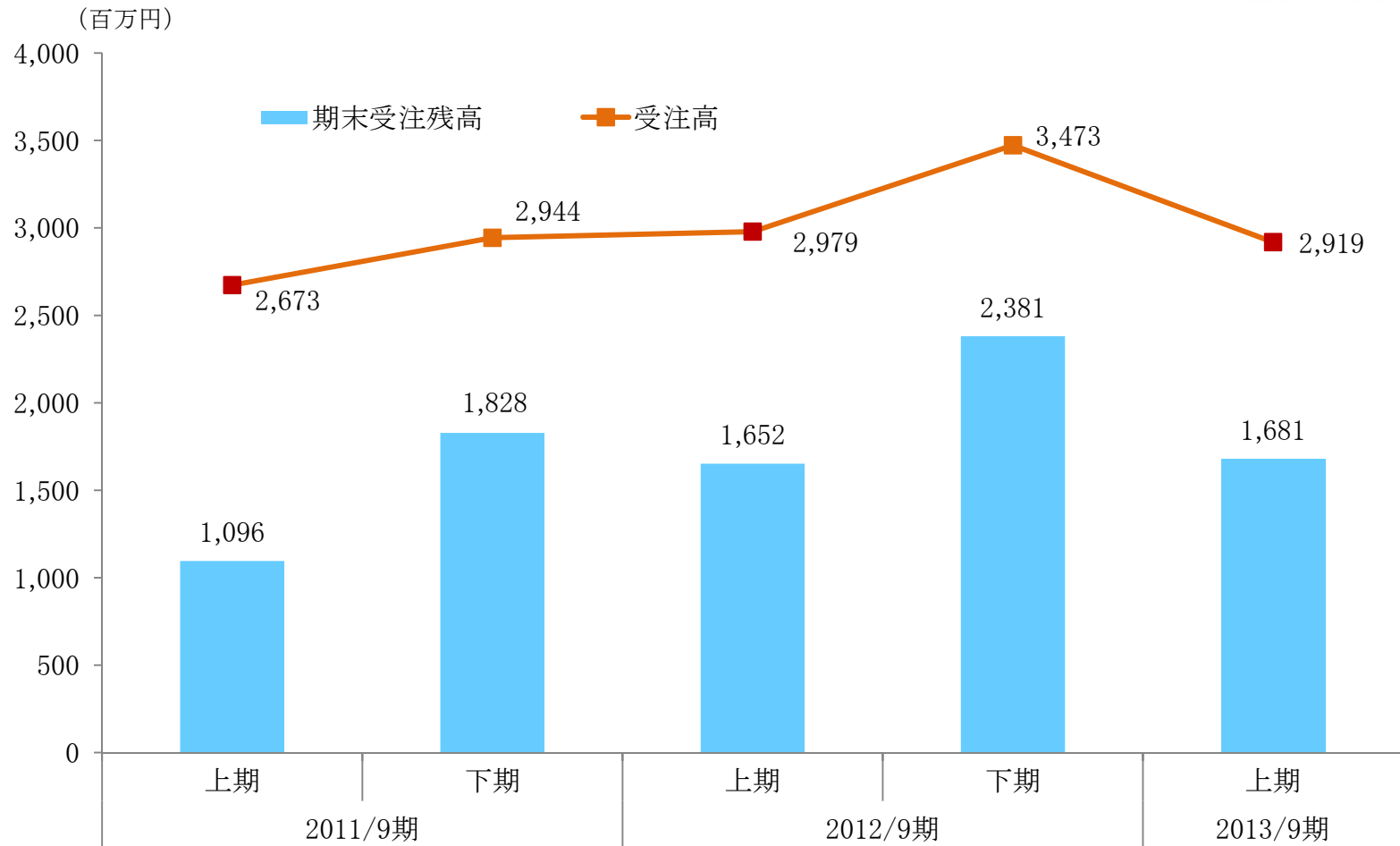
(単位:百万円)

	13/9中間期 実績	12/9中間期 実績	増減額	増減率	13/9期 予想	増減率
受注高	2,919	2,979	△60	△2.0%	—	—
売上高	3,620	3,156	+464	+14.7%	3,300	+9.7%
営業利益 (営業利益率)	638 (17.6%)	601 (19.1%)	+37	+6.2%	380 (11.5%)	+67.9%
経常利益 (経常利益率)	698 (19.3%)	599 (19.0%)	+99	+16.5%	381 (11.5%)	+83.2%
中間純利益 (中間純利益率)	463 (12.8%)	369 (11.7%)	+94	+25.5%	230 (7.0%)	+101.3%
設備投資額	97	125	△28	△22.4%	152	△36.2%
減価償却費	119	81	+38	+46.9%	159	△25.2%
研究開発費	130	93	+37	+39.8%	129	+0.8%
従業員数(人)※	217	210	+7	+3.3%	—	—

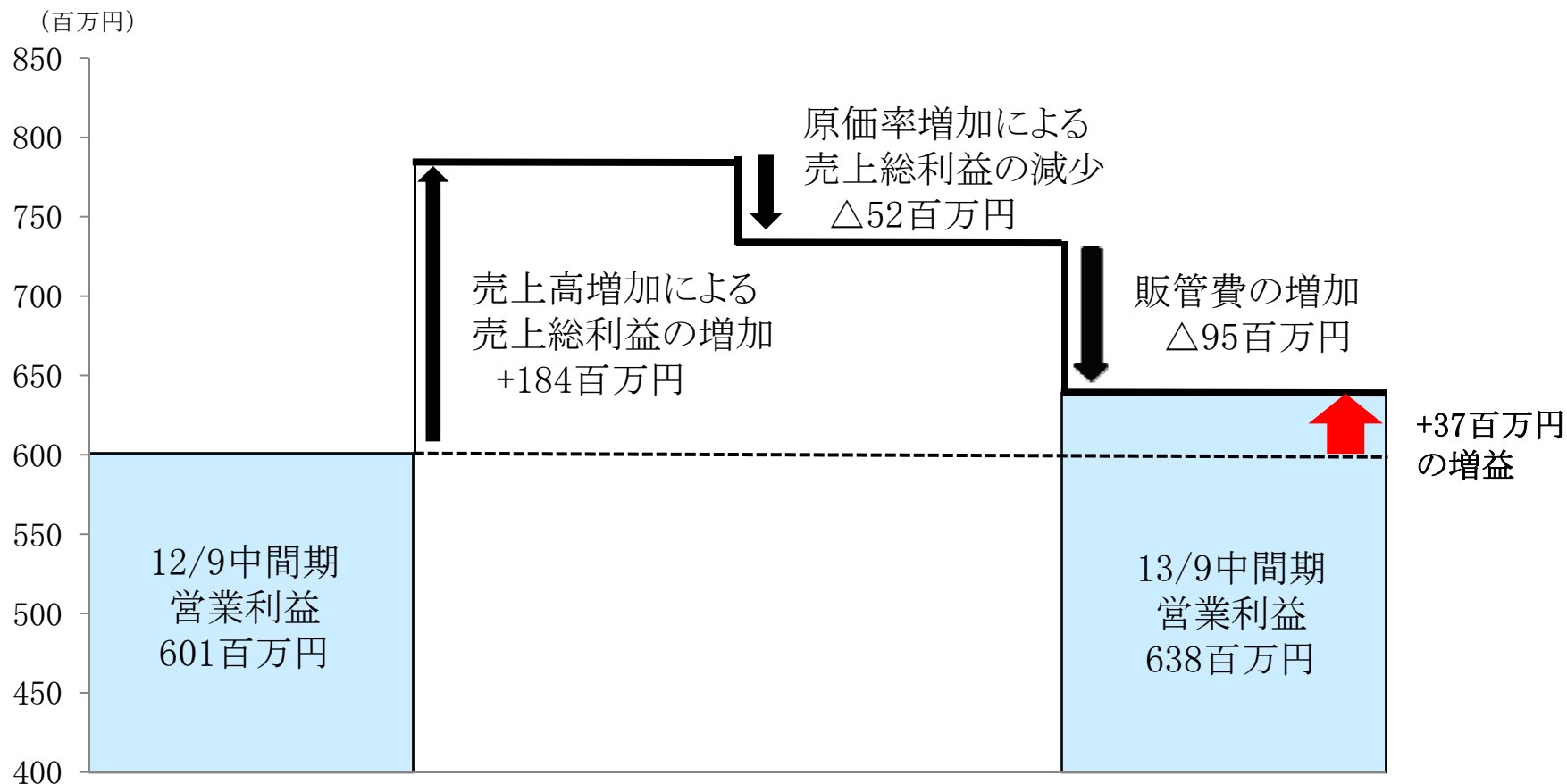
※△は損失、減少を表します。従業員数には、期中平均臨時従業員数を含みます。

売上高は前期比464百万円増収の3,620百万円となりました。増収効果により、営業利益は前期比37百万円増益の638百万円、経常利益は前期比99百万円増益の698百万円となりました。中間純利益は前期比94百万円増益の463百万円となりました。

■ 受注の状況



■ 営業利益増加要因(連結)



海外進出に伴う人材確保による労務費の増加、新製品開発による研究開発費の増加等により販管費が増加しましたが、増収による売上総利益の増加が大きく、営業利益は37百万円の増益となりました。

■ 品目別ポートフォリオ

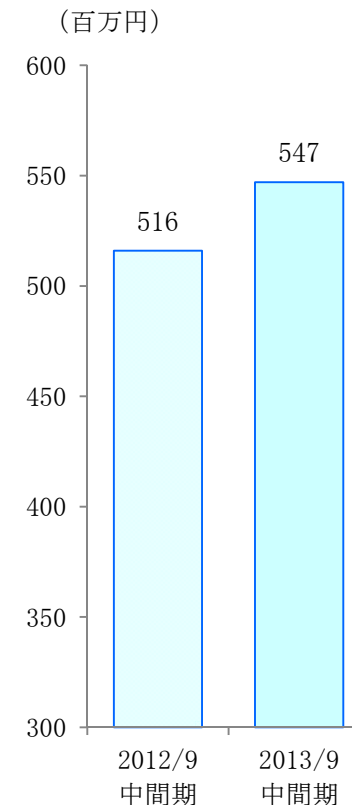
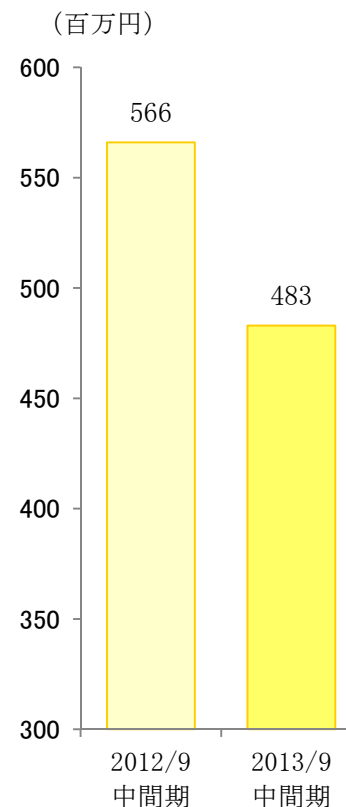
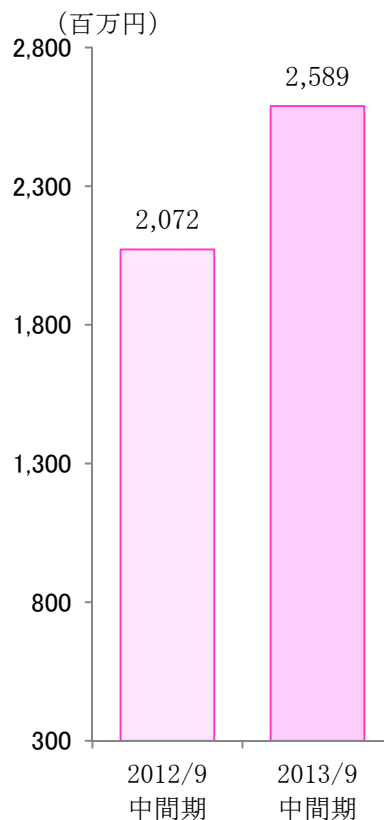
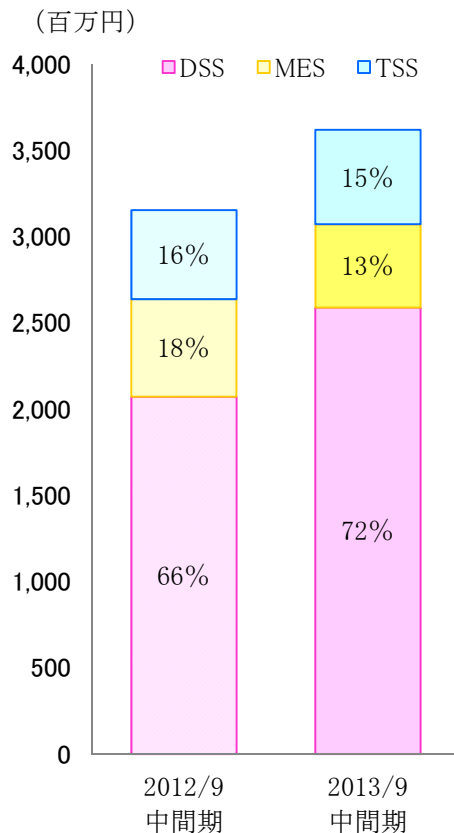


○ 品目別売上構成率

○ DSS

○ MES

○ TSS



DSSの国内、海外売上が大幅に増加し品目別売上構成率は70%を超えました。MESは震災特需の一巡等により売上は減少しました。また、TSSは順調に中間期における過去最高売上高を更新しております。

■ DSS ～概況～



(単位:百万円)

	13/9中間期	12/9中間期	増減額	増減率
車両・車載機器向け	2,024	1,395	+630	+45.1%
電気機器向け	29	101	△71	△70.6%
航空・宇宙用機器向け	13	186	△173	△93.0%
その他用途向け	235	137	+98	+71.7%
点検・修理	286	253	+34	+13.3%
合計	2,589	2,072	+517	+25.0%

- 車両・車載機器向け売上は、リチウムイオン電池、EV対応用検査装置仕様の増加に伴い好調に推移いたしました。
- ヨーロッパ市場におけるDSS事業の販売・マーケティング活動強化のため、2月に英国現地法人IMV EUROPE LIMITEDを設立いたしました。

※第3四半期中に同ドイツ支店(販売拠点)も開設予定



■ MES ～概況～

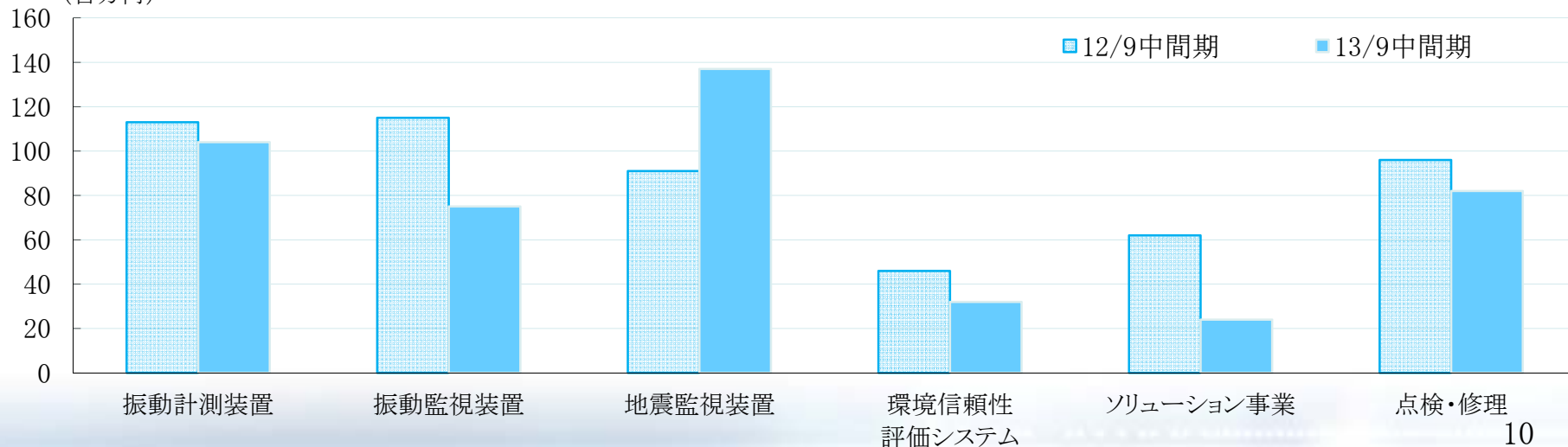


(単位:百万円)

	13/9中間期	12/9中間期	増減額	増減率
振動計測装置	104	113	△8	△7.7%
振動監視装置	75	115	△40	△34.6%
地震監視装置	137	91	+45	+49.5%
環境信頼性評価システム	32	46	△14	△30.5%
ソリューション事業	24	62	△38	△61.6%
点検・修理	82	96	△14	△14.8%
子会社外部売上	27	38	△11	△30.0%
合計	483	566	△82	△14.6%

- メジャリングシステムの分野におきましては、無線型振動計「カードバイブロAir2」を発売いたしました。また、化学・石油プラント向けの地震監視装置は順調に推移しましたが、振動監視装置は震災後に増加した火力発電所等への納品が一巡し大型案件が減少したため、減収となりました。

(百万円)



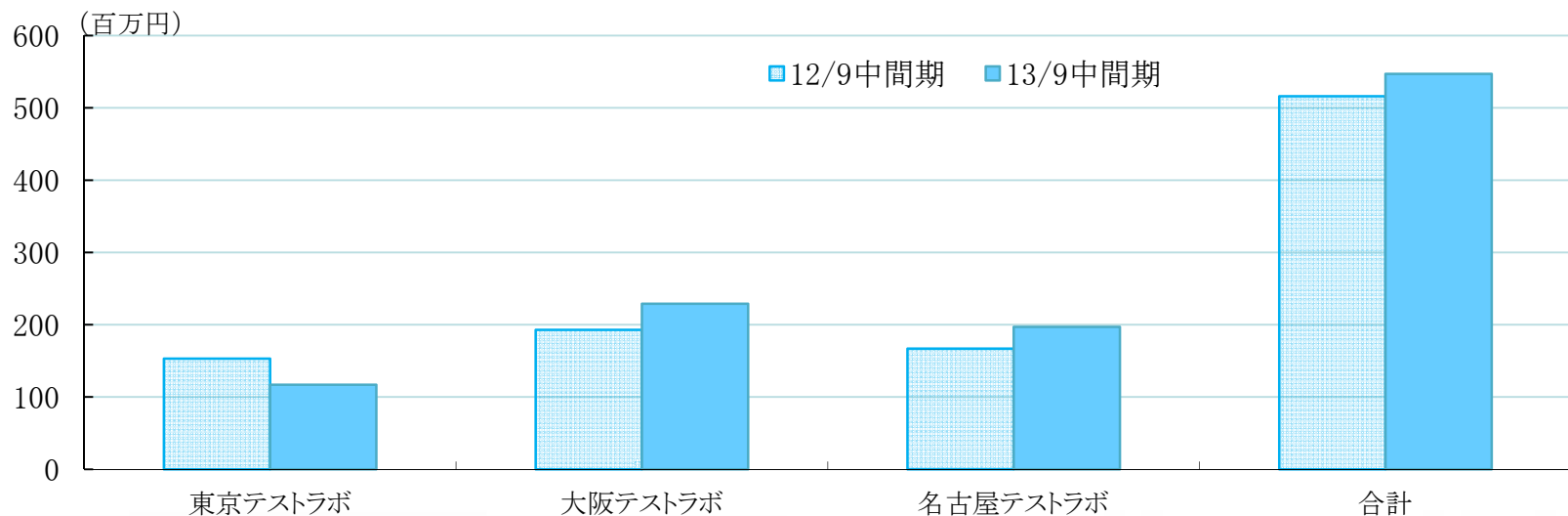
■ TSS ～概況～



(単位:百万円)

	13/9中間期	12/9中間期	増減額	増減率
東京テストラボ	117	153	△36	△23.5%
大阪テストラボ	229	193	+36	18.9%
名古屋テストラボ	197	167	+30	18.2%
子会社外部売上	2	2	+0	27.4%
合計	547	516	+31	6.0%

- 大阪テストラボにおける鉄道車両機器の受託試験および名古屋テストラボにおけるEV関連の試験が増加したこと等により、テストラボ事業で過去最高の売上高となりました。



■ 業績の見通し(連結)



(単位:百万円)

	13/9期 予想	12/9期 実績	増減額	増減率	概要
売上高	6,000	5,900	+100	+1.7%	
営業利益 (営業利益率)	500 (8.3%)	666 (11.3%)	△166	△24.9%	
経常利益 (経常利益率)	500 (8.3%)	658 (11.2%)	△158	△24.0%	
当期純利益 (当期純利益率)	300 (5.0%)	360 (6.1%)	△60	△16.7%	
設備投資	215	419	△204	△48.7%	
減価償却費	343	191	+152	+79.6%	
研究開発費	224	249	△25	△10.0%	
従業員数(人)※	219	213	+6	+2.8%	
1株当たり当期純利益(円)	18.35	22.05	—	—	
1株当たり配当金(円)※	4.00	5.00	—	—	

※ 従業員数には、期中平均臨時従業員数を含みます。

※13/9期の配当金につきましては、2013年12月開催予定の定時株主総会において上記配当金を附議する予定です。

※ 12/9期の配当金5円につきましては、55周年記念配当1円を含んでおります。

国内向けの複合環境試験装置の売上増加及び海外向けの売上増加を見込み、売上高は6,000百万円と想定しております。利益面では、海外事業への取り組みを加速するための人員増、TSSの増強に伴う減価償却費の増加等のため、営業利益は500百万円、経常利益は500百万円、当期純利益は300百万円と予想しております。

なお、配当につきましては通常配当4円を予定しております。



今後の取り組み

IMV CORPORATION

copyright©IMV CORPORATION 2012 All right reserved



■新製品の状況

無線型振動計カードバイブロAir2



- 2012年12月発売
- 海外メーカーとOEM販売契約を締結予定
- 1000台/年 程度の販売を見込む

《4つの特徴》

- Android端末対応 Wi-Fi無線
- 高速レスポンス
- 軽量コンパクト
- 低消費電力(連続6時間)

■ 新製品の状況

大型耐震シミュレーションシステム

特徴

- アクチュエータのハイブリッド技術
駆動方式の違う2種類(導電式とACサーボ)のアクチュエータを同期運転させるハイブリッド方式を採用。この方式による低域から高域までの幅広い帯域の波形再現が可能。
- アクチュエータの多点制御技術
従来の多点制御技術に多点変位フィードバックを加えたダブルループ制御方式を採用。
- 用途
過去に発生した地震波再現試験
耐震規格試験(NTT耐震規格実施可能)
大型試験品の輸送試験 他

■ 販売地域の拡大

地震監視装置 (SW)

フィリピン・トルコへ進出

(理由)

- 地震頻度が高い。
- 地震に対するインフラが未整備。
- 各国のディーラー候補者との人脈強化。



- ターゲット: 工場・官公庁・コンドミニウム・ショッピングモール等
- 避難誘導システム、緊急遮断装置・安全隔離装置を提案



フィリピンの市長との会談



トルコでの展示会 (ICCI2013)

■ 優秀省エネルギー機器表彰

日本機械工業連合会会長賞 受賞

省エネ型振動シミュレーションシステム ECO-Shakerが
「日本機械工業連合会会長賞」を受賞



- 省エネ技術は海外(特にヨーロッパ)にて高評価。

■ 新市場の状況

ヨーロッパの状況

2013年2月に英国駐在事務所をIMV EUROPE LIMITEDに現地法人化。
第3四半期中にドイツ販売拠点を開設し、EU全域における販売活動をさらに加速。

※ドイツの状況

- 契約件数: 上期4件、下期5件以上の引合あり
- 売上高: 上期70万€
- 主要な取引: 自動車関連業界
- ECO-Shakerが高評価



IMVヨーロッパ代理店会議

■ 新市場の状況

アメリカへの進出計画

- 2013年10月 ミシガンで開催される Automotive Testing Expo 2013 North Americaに出展予定。
- Dodson Technical Serviceと代理店契約締結。

automotive
testing expo 2013
north america

October 22, 23 and 24 2013

The Suburban Collection Showplace, Novi, MI, USA

中国でのアフターサービス体制の強化

- 上海に駐在員事務所設立手続き中。



代理店技術者への
技術サービス研修

ありがとうございました



代表取締役会長

小嶋 成夫

代表取締役社長

岡本 二郎

執行役員 経営企画本部長

白星 政和

■ お問い合わせ先

IR窓口:経営企画本部企画部 IR担当 中上

TEL:06-6478-2565 FAX:06-6478-2567

E-MAIL:imvir@imv.co.jp <http://www.imv.co.jp>

○免責事項

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。投資に関する決定は、ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保障するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。

(ご参考資料)

IMV CORPORATION

copyright©IMV CORPORATION 2012 All right reserved



■ 貸借対照表の概要(連結)



(単位:百万円)

	13/9中間期末	12/9期末	増減額		13/9中間期末	12/9期末	増減額
流動資産	5,470	4,520	+951	流動負債	4,841	4,173	+669
現金預金	1,582	1,117	+464	仕入債務	1,568	1,371	+198
売上債権	2,477	2,005	+471	短期有利子負債	2,421	1,975	+447
棚卸資産	1,231	1,200	+31	その他流動負債	852	827	+24
その他流動資産	181	197	△16	固定負債	598	662	△65
固定資産	3,065	3,018	+47	長期有利子負債	291	353	△62
有形固定資産	2,883	2,874	+9	その他固定負債	306	309	△3
無形固定資産	29	23	+6	負債合計	5,439	4,835	+604
投資その他資産	152	120	+32	純資産合計	3,096	2,702	+394
資産合計	8,535	7,537	+998	負債・純資産合計	8,535	7,537	+998

資産の部 : 現預金が464百万円増加し、売上の増加に伴い売上債権が471百万円増加いたしました。

負債の部 : 生産の増加に伴い仕入債務が198百万円増加し、短期有利子負債は447百万円増加いたしました。
長期有利子負債は、62百万円減少いたしました。

純資産の部 : 純資産は394百万円増加いたしました。

■ キャッシュフロー計算書の概要(連結)



(単位:百万円)

		13/9中間期	12/9中間期	増減額
①	営業活動によるキャッシュ・フロー	234	105	+128
②	投資活動によるキャッシュ・フロー	△111	△134	+23
①+②	フリーキャッシュフロー	123	△28	+151
③	財務活動によるキャッシュ・フロー	301	474	△174
④	現金及び現金等価物に係る換算差額	35	6	+28
⑤	現金及び現金同等物の増減額	458	452	+5
⑥	現金及び現金同等物期首残高	922	670	+251
⑦	現金及び現金同等物四半期末残高	1,380	1,123	+257

営業CF :税金等調整前当期純利益698百万円等の増加要因が、売上債権の増加464百万円等の減少要因を上回ったことにより、234百万円の増加となりました。

投資CF :有形固定資産の取得による支出97百万円等により、111百万円の減少となりました。

フリーキャッシュフロー:営業収入の増加(期初売掛債権の増加分回収)により黒字化しました。設備関連の支出は前期並みであり、フリーキャッシュフローは123百万円となり、前年同期比151百万円増加いたしました。

財務CF :期末要因(短期借入金の純増額540百万円、長期借入金の返済による支出257百万円の減少)により、301百万円の増加となりました。

■ 会社概要(2012年9月期連結)



社 名 : IMV株式会社 (英文社名:IMV CORPORATION)

証券コード : 7760 (大阪証券取引所JASDAQ(スタンダード)／精密機器)

設 立 : 1957年4月17日

事業概要 : 振動シミュレーションシステム及びメジャリングシステムの製造・販売
及びテスト&ソリューションサービスの提供

代 表 者 : 代表取締役会長 小嶋 成夫
代表取締役社長 岡本 二郎

売 上 高 : 5,900百万円

経 常 利 益 : 658百万円

資 本 金 : 464百万円

従 業 員 数 : 213人 (42名の期中平均臨時従業員含む)

本 社 所 在 地 : 大阪市西淀川区竹島2-6-10

(本社/技術本部/東京営業所/大阪営業所/名古屋営業所/東京テストラボ/
大阪テストラボ/名古屋テストラボ)

■ 会社沿革



- | | | |
|-------|-----|--|
| 1957年 | 4月 | 株式会社国際機械振動研究所を設立 |
| 1974年 | 10月 | 会社更生法を大阪地裁へ申請
小嶋成夫(現会長)が更生管財人として自力再建を開始 |
| 1985年 | 7月 | 残3回の弁済計画を繰り上げ、会社更生手続きを終結 |
| 1994年 | 9月 | 日東精機(株)を100%子会社化 |
| 1998年 | 4月 | 国内初のテストラボ専用施設を完成(東京工場敷地内) |
| 2005年 | 5月 | 本社・大阪工場を大阪市西淀川区に移転・統合 |
| 2005年 | 6月 | 大阪テストラボ開設 |
| 2005年 | 7月 | ジャスダックに上場 |
| 2007年 | 2月 | 大阪にショールーム開設 |
| 2007年 | 9月 | 名古屋テストラボ開設 |
| 2009年 | 3月 | 大阪テストラボに鉄道車両機器向け新試験棟開設 |
| 2009年 | 12月 | (株)データ・テクノを100%子会社化 |
| 2010年 | 2月 | ブリュエル・ケアー社(B&K社)と業務提携 |
| 2010年 | 12月 | 東京営業所を浜松町へ移転 |
| 2011年 | 10月 | 英国にIMV CORPORATION EUROPEAN TECHNICAL CENTRE を開設 |
| 2011年 | 11月 | タイにIMV(THAILAND) CO.,LTD.(子会社) を設立 |
| 2013年 | 2月 | 英国にIMV EUROPE LIMITED(子会社)を設立 |

■ 経営理念



[SECURE THE FUTURE]



IMVが見守る未来

IMVは1957年の設立以来、振動問題のソリューションパートナーとしてさまざまな分野と携わってきました。これからも、製品→パートナー→社会に対して、信頼を形にする企業であり続けます。

Future

安全を見つめて未来の社会に貢献します。

IMV work with our customers and investors to secure their future, developing the products, skills and resources that will bring success. IMV appreciate this and work fast to meet our Partners' future needs.

Integrity

誠実で開かれたパートナーシップを大切にします。

IMV treat our customers, suppliers and investors with the highest of integrity, dealing with all our partners in an open and honest manner. IMV work hard to earn and keep your trust.

Reliability

製品とサービス、すべてに信頼を作り込みます。

Our customers use IMV's products to ensure reliability and performance. We build this reliability into all our products and services. IMV will be there when you need us.

Strength

振動技術の世界リーダーとして経営基盤を強化します。

IMV's financial strength means we will be a long-term partner for our customers and able to invest in the research for new products. IMV have the strength in finances, products and people to serve our customers on a global basis. We have the strength to be the World's Number 1 Vibration Test and Measurement Company.

Technology

顧客ニーズに俊敏に応える技術を開発します。

IMV invest substantially in research to understand our Customers' needs and the products to meet those needs. IMV have been the first to market with many new products and technologies and we will continue to lead the market through technology and innovation for the benefit of our customers and investors.